



ハグとユーモアで、心と身体を癒す

『結びの島』



©株式会社ディンギーズ

山口県の南東部に位置する周防大島。冬でも比較的温暖で、かつては「みかんの島」とも呼ばれ、近年では旅行ガイド等で「瀬戸内のハワイ」とも形容される瀬戸内海では3番目に大きな島で、「おげんきクリニック」や福祉施設を運営する医師、岡原仁志氏の診療風景や患者さん・ご家族との交流を記録したドキュメンタリー映画が現在公開されている。おおよそ2人に1人が高齢者というこの島の様子は、「そう遠くない、未来の日本」の姿である。

描かれている診療場面は、常に笑顔が絶えず、映画『パッチ・アダムス』のワンシーンを彷彿させる。診療中、薬を2本ほしい、という患者さんには「日本（にほん）だからね、2本だしておきましょうね」と応え、別の女性患者さんには「今日の注射はね、きれいな人とか、かわいい人はあまり痛くないの」と笑いながら耳打ち。訪問診療時にはバルーンアートをつくってベッドサイドに掲げ、診察の帰りがけには患者さんとハグ。

島の自然や「送り花火」の美しい映像とともに、

溝渕雅幸監督は穏やかで幸せな人生の結び方、患者さんご家族や医療関係者との関係の結び方、コミュニティの結び方を写し出す。

* * *

『いのちがいちばん輝く日』（2012年）、『四万十いのちの仕舞い』（2017年）に続く作品第3弾『結びの島』は、2020年10月より全国公開中。劇場公開を記念した、舞台挨拶等も予定されている。

<舞台挨拶予定>

2021年1月9日（土）、10日（日）新宿 K's cinema

2021年1月16日（土）、17日（日）横浜シネマリン

■映画『結びの島』

監督/溝渕雅幸 製作統括/藤原福次

出演/岡原仁志医師、周防大島の皆さん

音楽/ザビエル大村 語り/とりばみ はる

撮影/長谷川智章、落合温史

製作・配給/株式会社ディンギーズ 上映時間/108分
感染症対策等のため、予定は変更になる場合があります。最新情報は公式HPでご確認ください。

<https://www.inochi-hospice.com/>